

FM パネル D-15 テスト

2021/02/11

松尾 優

このソフトウェアは、FM パネル D-15 テストを行うソフトウェアです。

現在、

1. パネル D-15 テスト そのもの
2. パネル D-15 テストの結果の例
3. カラー-sliderによる色値の表示
4. マス目状の色表による色値の表示
5. 色相環による色値の表示
6. 画像の LMS 変換
7. 画像のセロハン処理
8. 画像の色角度回転
9. 画像のピクセルピッカー

というような機能を持たせています。

これらの機能は、おおよそ、タブ単位で実装しています。

タブは、以下のように、5枚あります。

Carrier 4:08 PM

D-15 テスト

明度 7 (2段階上)

標準	半分	1.5倍	2.0倍
sRGB	sRGB	sRGB	sRGB
Adobe	Adobe	Adobe	Adobe

明度 6 (1段階上)

標準	半分	1.5倍	2.0倍
sRGB	sRGB	sRGB	sRGB
Adobe	Adobe	Adobe	Adobe

1 Test 2 Exam 3 CoE 1 4 CoE 2 5 Picture

Carrier 4:08 PM

テストの例

ノーエラー、パス
ノーエラー パス1 パス2

2色覚

1型 1 1型 2
2型 1 2型 2
3型 1 3型 2 3型亜種
複合型 1
複合型 2

1色覚

1 Test 2 Exam 3 CoE 1 4 CoE 2 5 Picture

Carrier 4:08 PM

色の例

RGB カラー-slider
算数 1型 2型 3型

HSV カラー-slider
算数 1型 2型 3型

マス目

		黄	
	黄赤		緑黄
赤			緑
赤紫			水緑

1 Test 2 Exam 3 CoE 1 4 CoE 2 5 Picture

Carrier 4:08 PM

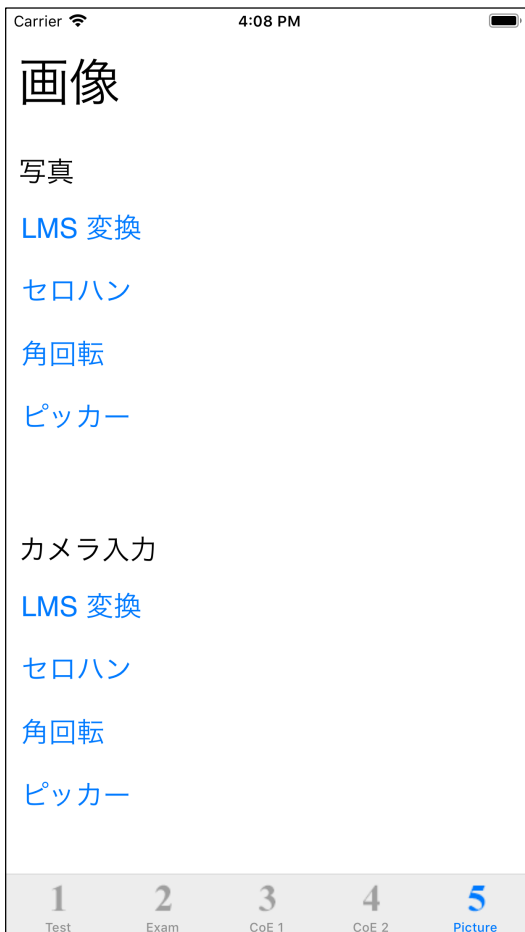
色の例 2

色相環
HSV 色相環

RGB 色相環
6色 色相環
12色 色相環

ISCC
ISCC vivid
ISCC brilliant

1 Test 2 Exam 3 CoE 1 4 CoE 2 5 Picture



FM パネル D-15 テストについて

左端に置かれた、“パイロットキャップ”に近い色から順に、15個のキャップを並べていきます。

大ざっぱには、

青 緑 黄 赤 紫

という順で並べていきます。

並べた結果は、

1. ノーエラー (no error)
2. パス (pass)
3. エラー (error)

の3つに分類されます。

1. ノーエラー (no error)、2. パス (pass) と分類された場合、一般的には、問題なしと判定されます。

3. エラー (error) の場合は、何らかの強度な色覚異常があると判定されます。

FM パネル D-15 テストの結果からわかることは、

何らかの強度な色覚異常があるか、否か。

であると言われていきます。

FM パネル D-15 テストでは、軽度、中程度の色覚異常はわからないと言われていきます。

1. ノーエラー (no error) ... 問題なし
2. パス (pass) ... 軽度、あるいは中程度の色覚異常
3. エラー (error) ... 強度な色覚異常

こうではありません。

2. パス (pass) は、問題なしと判定されます。

軽度、あるいは中程度の色覚異常は、FM パネル D-15 テストではわからない。
ということに、ご注意ください。

一般に、パネル D-15 テストは、1回、あるいは、2回行うことが多いです。

パネル D-15 テストの結果を記録する用紙は、通常、2回分を記録する用紙です。

1回目が、ノーエラーなら、1回です。

1回目が、パス、エラーなら、2回目を行います。

このソフトウェアは、この回数、この手順には、対応していません。